

# わが

## 先人たちが築き上げてきた札幌の街を 未来を担う子どもたちへ

### 豊かな自然と 都市機能が調和した街

札幌市は日本最北の政令指定都市であり、充実した都市機能を有しながら、四季折々に表情を変え、美しい自然を兼ね備えており、多くの皆さまから愛されています。



藻岩山からの夜景

す。また、道内各地から旬の味覚が集まる食の宝庫であるとともに、日本新三大夜景や日本三大イルミネーションに選定されるなど、さまざまな魅力にあふれた街です。

今から140年余り前の明治2年、「蝦夷地」と呼ばれていた大地が「北海道」と改称されたころ、開拓使の判官として着任した島義勇は、石狩川や雄大な山々に囲まれた大平野を望み、「他日五州第一の都」（いつかこの場所に世界一の都を創るの意）と詠んだと言います。札幌のまちづくりは、この島判官の壮大な志のもと、偉大な先人たちの手によりその一歩を踏み出しました。そして、先人たちの熱い思いを大切に受け継ぎながら、国内有数の大都市へと発展してまいりました。

### 誰もが安心して暮らし 生涯現役として 輝き続ける街

札幌市の人口はいまだ増加傾向にあるものの、合計特殊出生率の低さや若い世代の道外への転出超過といった課題を抱えており、これに伴う社会保障関係費の増大や経済規模の縮小が懸念されています。こうした状況を踏まえ、UITターン就職希望者や地元企業への支援をはじめ、道外からの企業誘致、そして大規模な国際会議が開催可能なMICE施設の整備に向けた検討など、市内経済の活性化を目指した取り組みを進めているところです。

また、女性の割合が高い札幌で、その力を十分に発揮できるように、平成29年5月に設置した「女

性応援会議」をはじめ、保育人材の確保に向けた保育士・保育所支援センターの設置や、待機児童ゼロを目指した保育定員の拡大などを通じて、女性の皆さまがあらゆる場面で活躍しやすい環境づくりに取り組んでいます。今後も誰もが安心してこの街で暮らしていくことができるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。

### 世界都市としての魅力と 活力を創造し続ける街

平成29年2月に開催した冬季アジア札幌大会では、32の国と地域から集結した選手たちによって熱い戦いが繰り広げられ、世界各国からお越しいただいた関係者の皆さまに大変ご好評をいただきました。

大会を通じて醸成された機運を礎に、本市では現在、冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた取り組みを進めています。この街は、昭和47年の冬季オリンピックの開催を契機に、都市基盤が急速に整備され、飛躍的な発展

を遂げました。冬季オリパラを再び開催することは、多くの人々に勇気と感動をもたらし、この街が一層輝くための起爆剤になるとともに、札幌の魅力を国内外に広く発信できるまたとない機会になると考えます。そしてこれに伴い、競技施設のみならず都市基盤の更新も図り、活力があふれ世界を引きつける都心の再開発を一層進めてまいります。

また、8月から10月までの57日に渡って開催した札幌国際芸術祭2017では、音楽や美術といった既存のジャンルにとらわれないアート作品を紹介し、札幌の独自性を発揮した芸術祭となったことで、市民の皆さまだけでなく



「探偵はBARにいる3」撮影風景

国内外にも札幌の街の新たな魅力を発信することができ、結果として延べ38万人以上の方々にお越しいただきました。

そして、さらなる魅力の発信に向け、本市ではこの街を舞台にした映画やドラマなどの誘致を進めており、平成29年に地域を最も盛り上げた映画とロケ地を表彰する「第8回ロケーションジャパン大賞」では、『探偵はBARにいる3』という作品とともに本市がグランプリを獲得することができました。

平成30年10月には新たに、札幌市民交流プラザをオープンいたします。このプラザには、本格的なオペラやバレエなどの公演が可能となる札幌文化芸術劇場をはじめ、札幌市図書・情報館なども設置される予定であり、文化芸術と市民交流の新たな拠点として大変期待を寄せているところです。今後さまざまな取り組みを通じて、街の魅力をさらに高めながら、その存在を一層アピールしてまいりますと考えています。

## 心豊かで明るい札幌の未来

平成30年は北海道と命名されて

から150年という節目の年で、先人たちの弛まぬ努力によって発展を遂げてきたこの街を、未来を担う子どもたちへとしっかりと引き継いでいくため、引き続き、「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という2つの「札幌の未来の姿」の実現に向け、全力でまちづくりを進めてまいります。

## プロフィール

- ◆ 面積 1121km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 195万2348人
- ◆ 世帯数 104万8469世帯

〔将来都市像〕「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」  
 「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」

〔まちの特徴〕豊かな自然と充実した都市機能を兼ね備えた魅力あふれる街  
 〔特産品〕ジンギスカン、ラーメン、スイーツ、スープカレー



札幌市長  
秋元克広



〔観光〕大通公園、テレビ塔、さっぽろ羊ヶ丘展望台、藻岩山、モエレ沼公園、時計台、赤レンガ、大倉山  
 〔イベント〕さっぽろ雪まつり、さっぽろホワイトイルミネーション、さっぽろオータムフェスト、YOSAKOIソーラン祭り、ミュンヘン・クリスマス市(Sapporo)、さっぽろ夏まつり



札幌市民交流プラザ(完成イメージ図)

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 「先端のまち」を目指し 城下町たてばやしが始動する

国の名勝「躑躅ヶ岡」をはじめとする  
名所を生かして

館林市は「鶴舞う形」の群馬県の南東部に位置し、都心から車や電車で約1時間という高い利便性を有しています。また、豊かな水資源にも恵まれていることから、食品製造業をはじめ、多くの企業が操業しており、のどかな自然と観光資源あふれるまちです。

中でも、樹齢800年を超えるヤマツツジが自生する「つつじが岡公園」には、年間約31万人の観光客が訪れ、花が咲き誇る5月には、多くのお客さまでにぎわいを見せます。約50種、1万株のツツジを保護しているこの公園は、まさに世界一のつつじの公園です。平成29年には、この公園を守るた



樹齢800年を超えるヤマツツジ

めのサポータークラブも結成いたしました。その公園の北に位置する城沼には、夏、花ハスが一面に美しく広がります。舟に乗ってハスの間を巡るジャングルクルーズは、国内外のお客さまからも大変好評をいただいております。平成29年

10月には、沖縄で開かれた学会において、城沼のこのハスが推定3000年前から自生する「古代ハス」であると発表されました。そのほか、童話「分福茶釜」で有名な茂林寺、冬場にハクチョウが飛来する多々良沼など、数多くの名勝を持つ美しいまちです。最近では、この「城沼」「多々良沼」「茂林寺沼」の3つの沼に整備された遊歩道を含むウォーキングコースが、それぞれ新日本歩道道紀行100選に選ばれました。こうした素晴らしいウォーキングコースを活用し、健康増進と交流人口の増加を図っております。

### 徳川綱吉ゆかりの城下町

館林城は、かつては徳川家康の関東入国とともに、徳川四天王の一人、榊原康政公が城主として入



城沼の花ハスクルーズ

城いたしました。また、五代将軍、徳川綱吉公が19年間館林城主を務めたことでも有名です。

私たちの郷土館林は、江戸時代から先人たちが育て上げてきた城下町です。江戸時代から続く城下町文化の風情を後世に伝えていくまちづくりを推進していきたいと考えています。

そうした本市の歴史を感じられ



昭和58年に復元された土橋門

ては、市域東部は海抜15m、最高地点でも33mほどの平坦な地形にあり、北は渡良瀬川、南は利根川の2つの大河に挟まれる地形上、水害への備えは欠かすことのできない重要課題です。

る散策路として、最後の館林藩主である秋元家が使用していた「旧秋元別邸」から館林駅まで続く「歴史の小径」があります。そこには、文豪、田山花袋が少年期を過ごした旧居や、館林城の通用口であった土橋門、芸者の置屋兼料亭として使用されていた「旧二業見番組合事務所」などの歴史的建造物が連なっております。

そうした城下町風情の活用というビジョンの下、現在、「リノベーション」によるまちづくりを進めています。これは、歴史的建造物の活用だけでなく、空き家・空き店舗対策にもつながるものと考えられています。

## 災害時の危機対応能力の 高いまちづくり

関東平野にある本市の地勢とし

のできない重要課題です。

そうした中、災害に強いまちづくりを推進するため、自治体や多くの事業者などとの防災協定の締結を積極的に進め、平成29年に「大雨・洪水タイムライン（事前防災行動計画）」を策定したほか、現在「洪水ハザードマップ」の改訂も進めています。

また、全国で相次ぐ大規模災害に対する備えとして、民間病院を併設した広域防災拠点の整備にも取り組むなど、近い将来発生が見込まれる首都直下型や南海トラフ地震を想定した対策も進めています。

## ともにつくろう、 先端のまち「館林」

今、地方創生、いわゆる「自立したまち」が願われています。私

たちはまず、自分たちの地域の強みと弱みをよく理解する必要があると考えております。そうすることで、地方にある潜在力はより発揮され、弱みにおいてはリスクマネジメントへの取り組みが促進されるからです。

今や国に依存する考え方から、より自立する考え方へとシフトしていく必要があります。「地方が

## プロフィール

- ◆ 面積 60・97km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 7万6621人
- ◆ 世帯数 3万2678世帯

〔将来都市像〕水と緑と人が輝く共創都市たてばやし

〔まちの特徴〕鶴舞う形の群馬県の頭の部分に位置し、利根川・渡良瀬川にはさまれた、歴史あるまち

〔特産品〕キュウリ、ゴーヤ、ナス、米、麦、うどん、そば、麦落雁、醤油、小麦製品、川魚製品、漬物、館林細



館林市長  
須藤和臣



〔観光〕館林市つつじが岡公園、館林花菖蒲園、分福茶釜の茂林寺、桜とこのぼり、榎原康政の墓、館林城跡

〔イベント〕さくらまつり、つつじまつり、館林まつり、館林手筒花火大会、夏の城沼花ハスマつり、たてばやし七夕まつり、麵・1グランプリin館林、たてばやし駅伝大会

らイノベーションを」と、国が一億総活躍社会などを推進していますが、まずは地方にソーシャルイノベーションが起きること、つまり意識革命を起こすことが、地方の躍進において最も大切なことだと感じております。

「ともにつくろう先端のまち館林」を合言葉に、これからも全力で取り組んでまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 「元気で、あんなきな、誇りの持てる ふるさと飛騨市」の実現に向けて

### 個性豊かな地域資源の宝庫

飛騨市は、岐阜県の最北端に位置し、周囲は3000mを超える北アルプスの山々に囲まれ、総面積792・53km<sup>2</sup>の約92%を森林が占める、豊かな自然に恵まれたまちです。

また、豊富な自然資源のほか、ユネスコ無形文化遺産に登録され



飛騨古川祭 屋台行列

た飛騨古川祭、平成14年の小柴昌

俊東京大学特別荣誉教授のノーベル物理学賞受賞に続き、梶田隆章東京大学宇宙線研究所長がノーベル物理学賞を受賞されることにつながったニュートリノ観測施設「スーパーカミオカンデ」をはじめとした宇宙物理学研究施設、大ヒットを記録した映画『君の名は。』でイメージとして用いられている田舎町の風景など、多彩で個性豊かな地域資源が数多く存在します。

### 人口減少の先進地

本市の人口は、昭和30年の国勢調査時の5万483人をピークに減少を続けて、平成16年の市町村合併時に3万148人、本年1月には2万4702人まで減少しました。約20年後には老年人口が生

産年齢人口を上回る推計が出され

ており、地域の主な消費者である所得の稼ぎ手の減少が、地域経済の衰退に大きな影響を及ぼすことが予想されます。既に、高齢者を支える医療・介護の分野では人材不足が顕著であり、若者の流出により祭りなどの地域の伝統文化の維持が困難になるなど、人口減少はさまざまな分野に影響を与えています。

### 市民が安心して暮らせる まちづくり

本市では、人口減少問題を正面から受け止めた上で、社会の仕組みや制度、ものの考え方などを変えながら、課題に対して柔軟かつ臨機応変に対応できるまちづくりを進めています。

人口減少による介護人材の不足

が本市の喫緊の課題でありましたが、夜勤手当の増額を公費支援することで夜勤労働者の処遇改善を図るなど、前例にとられず全国的にも例のないさまざまな施策を講じ、徐々に効果が現れてきました。また、元気な高齢者にできる限り介護に加わっていただく仕組みづくりや、介護福祉士養成専門学校と連携し、将来の本市の介護を支える人材を育てる取り組みを始めました。

平成29年には、これも自治体では全国初となる児童精神科単科の診療所「飛騨市こどものこころクリニック」を開設し、既に診療を始められています。本年は、障がい児者日中一時支援施設と複合児童福祉施設の建設や、障がい者グループホームの設計に着手するなど、支えを必要とする方が安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

### 地域資源を生かした まちづくり

本市では、この地域にしかない

豊富な資源を活用したまちづくりに取り組んでおり、近年では大きなチャンスが巡ってきました。

1つ目は、飛騨古川祭のユネスコ無形文化遺産登録です。飛騨古川祭は、毎年4月19日、20日に執り行われ、飛騨の匠の技の結晶である絢爛豪華な9台の「屋台行列」と、数百人の裸男たちが攻防を繰り広げる「起し太鼓」が祭りの見どころです。平成29年には、同じく登録された近隣7都市と連携して山鉦屋台フェスティバルを開催しました。今後は、屋台を展示している「飛騨古川まつり会館」のリニューアルを行い、観光客の皆さまに祭りの魅力を常時体験していただけるよう整備してまいります。

2つ目は、アニメ映画『君の名は。』のワンシーンに使われた飛騨古川駅



映画『君の名は。』のワンシーンに使われた飛騨古川駅

は。』の大ヒットです。これにより本市を認知していただき、公開から1年以上経過した今でも、多くの皆さまに聖地巡礼として訪れていただいております。平成29年に行われた全国55地域のロケ地とグルメで「行きたいまちNo.1」を決める全国ふるさと甲子園では、初出場ながら第6位と大健闘いたしました。このタイミングを十分生かすため、継続的な情報発信やメディアが注目するような新規事業を開し、継続して訪れていただけるようなまちづくりを推進します。

3つ目は、東京大学宇宙線研究所長の梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞です。最近では、研究施設「スーパーカミオカンデ」の装置内部の絵柄を使ったジグソーパズルが「難しすぎる」としてテレビなどで話題になるなど、さまざまな波及効果が現れてきております。本年は、この地で行われている宇宙物理学研究を知り、体感していただける施設を道の駅に整備します。先般、名称を一般公募し「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」に決定しました。多くの皆さまに親しんでいただける施設となるよう取り組んでまいります。

## 前向きに動き続ける まちづくり

本市は「人口減少の先進地」ですが、全国や世界に誇れる地域資源の宝庫であることを確信しています。

人口減少下における現実をしっかりと見据え、市民の皆さまと一緒に「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」の実現に

## プロフィール

- ◆ 面積 792.53 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 2万4702人
- ◆ 世帯数 8896世帯

〔将来都市像〕元気で、あんな、誇りの持てるふるさと 飛騨市  
〔まちの特徴〕全国に誇ることができ自然・観光・文化資源など個性豊かな地域資源が数多く存在するまち

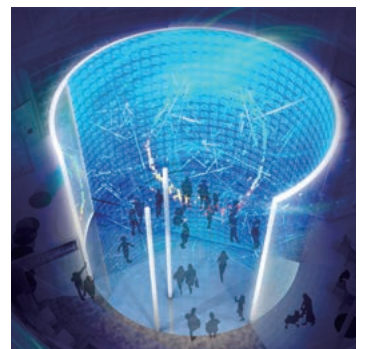
〔市町村合併〕平成16年2月1日、古川町、河合村、宮川村、神岡町が合併



飛騨市長  
都竹淳也



〔特産品〕飛騨牛、ホウレンソウ、トマト、寒干し大根、えごま、日本酒、米、和ろうそく  
〔観光〕飛騨古川まつり会館、瀬戸川と白壁土蔵街、天生県立自然公園、レールマウンテンバイクガッタングー!!  
〔イベント〕飛騨古川祭、三寺まいり、きつね火まつり、飛騨神岡祭、GSA（ジオスペースアドベンチャー）



宇宙物理学研究紹介展示施設のメインシアター（イメージ）

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 住んで良かったと思えるまちづくり、元気な垂水づくり、 九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち 垂水

市内各地区の  
特性を生かした  
まちづくりを推進

日本の南に位置する「鹿児島県」。そのシンボルは活火山として有名な「桜島」と母なる海「鹿児島湾（錦江湾）」。「垂水市はそんな鹿児島島のシンボルを一望する場所にあります。

錦江湾沿いの美しい海岸線、自然が多く残る高限の山々、神秘的な景観の広がる猿ヶ城溪谷、平成24年に霧島錦江湾国立公園に指定されました高峠つっしヶ丘公園など豊かな自然が数多くあります。

本市は本年市制施行60周年を迎え、地域住民がまちづくりの主役となり、助け合い・支え合いの心を育みながら、市内9地区それぞれの地域の特性を生かしたまちづ

くりを進めており、市民の幸せと本市の将来像「九つの彩り豊かに健やかな人を育むまち 垂水」の実現を目指しております。

**健康長寿・いつまでも  
地域で幸せに暮らせる  
まちを目指して**

2025年問題が全国的な課題といわれていますが、本市ではその遙か先、2045年状況に達しており、人口減少と年齢構成における少子高齢化は本市にとって深刻なものです。

そのような状況の中、本市ではすべての市民が安心して自立した生活を送れることを目的に、平成29年度から市民を対象に新しい健康チェック事業への取り組みを始めました。

「たるみず元氣プロジェクト」

と名付けて、従来の健診に加え、健康運動・認知機能・食生活習慣・口腔機能などを分野ごとにより専門的に幅広く評価し、今後20年以上継続して行う予定です。

この取り組みは鹿児島大学医学部の教授を中心とする研究チームと民間と協働で行うものです。

高齢化社会が全国平均より早いレベルで進んでいる本市をフィールドに、医療や少子高齢化などの課題について、市民の参加意識やモチベーションを高め、行政と医療が一体となって健康長寿の構築を目指しています。

本市の取り組みは、まだ始まったばかりですが高齢化の進んだ小さな市のチャレンジを、全国に情報発信することにより、来るべき高齢化社会のモデルケースのひとつとなることを願っています。

### 水産業・農業の 6次産業化の推進

本市の基幹産業のひとつであり、ます水産業は、温暖で穏やかな鹿児島湾を利用して、ブリとカンパチの養殖が盛んに行われております。

ブリは、「ぶり大将」のブランド名で関西・関東方面の国内はもとより、北米を中心とした海外にも出荷し、輸出货量では日本一であり、また、カンパチは、国内生産量日本一を誇っており、「海の桜勘」のブランド名で全国に出荷



大漁旗が印象的な「漁船パレード」



霧島錦江湾国立公園に指定された「高峠つつじヶ丘公園」

されています。  
現在、ブリとカンパチの加工品の販売も行っているほか、新たな加工品の開発も手掛けており、6次産業化の推進に取り組んでいるところでもあります。

また、農業における産業振興につきましましては、6次産業化に取り組む意向のある農業者や組織代表との協議を重ね、魅力ある農林業の振興を図り、市民の皆さまに農林業に対する関心をさらに深めていただけるよう、「第2次垂水市食育・地産地消推進計画」と併せて、地域の特性を生かした特産品

や加工品の開発、地産地消の推進に努めております。

### 観光振興による 交流人口の増加へ向けて

観光におきましては、平成21年度から教育旅行の受け入れを行っており、本市の自然を生かした農業・水産業の体験メニューにより、受け入れ家庭とともに高い評価を得ているところであります。

観光地では、高峠つつじヶ丘公園をはじめ、猿ヶ城溪谷「森の駅たるみず」には、自然を満喫できる体験メニューや大自然に囲まれたコテージがあり、多くの家族連れにご来場いただいております。

秋には、黄金の絨毯で有名な「千本イチヨウ」を見ようと県内外からも多くの方が来園されており、

わがまち垂水は、大隅半島一の温泉郷としても知られており、飲む温泉水や温泉入浴施設など、さまざまな泉質を楽しんでいただくこともできます。

### 3つの観光拠点施設による 地域経済の活性化

観光の拠点としては、雄大な桜

島を目の前に望む足湯のある「道の駅たるみず」があります。

本年度には市街地の南に、新たな拠点施設が完成予定であり、北の「道の駅たるみず」、中央の「森の駅たるみず」に加え、この南に位置する拠点施設を結ぶことによ

### プロフィール

- ◆ 面積 162.12 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 1万4649人
- ◆ 世帯数 6751世帯

〔将来都市像〕 住んで良かったと思えるまちづくり、9つの彩り豊かに健やかな人を育むまち垂水

〔まちの特徴〕 大隅半島の北西部、鹿児島湾（錦江湾）に面するほぼ中央に位置し、優雅な桜島を目の前に望む緑豊かなまち。県都鹿児島市をはじめ隣接自治体の移住生活圏としての政策を推進している。

〔特産品〕 海の桜鮎（カンパチ）、鰯大将（ブリ）、桜島美湯豚、つらさげ辛、



垂水市長  
尾脇雅弥

り、さらなる観光客の誘客を図り年間200万人の交流人口を目指してまいります。

魅力ある大隅半島の玄関口としての役割を果たすとともに、本市の観光振興並びに地域経済の活性化に向けて取り組んでまいります。

インゲン・キヌサヤ、飲む温泉水、森伊蔵、八千代伝

〔観光〕 霧島錦江湾国立公園「高峠つつじヶ丘公園」、県立自然公園「高隈連山」、透き通った清流が岩間を流れる「猿ヶ城溪谷」、黄金の絨毯「千本イチヨウ」

〔イベント〕 たるみず春フェスタ「高峠祭り」「カンパチ祭」「各種スポーツ大会」（5月連休）、瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール（6月）、たるみずふれあいフェスタ夏祭り（8月）、たるみずふれあいフェスタ秋の産業祭・千本イチヨウ祭り（11月）



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。